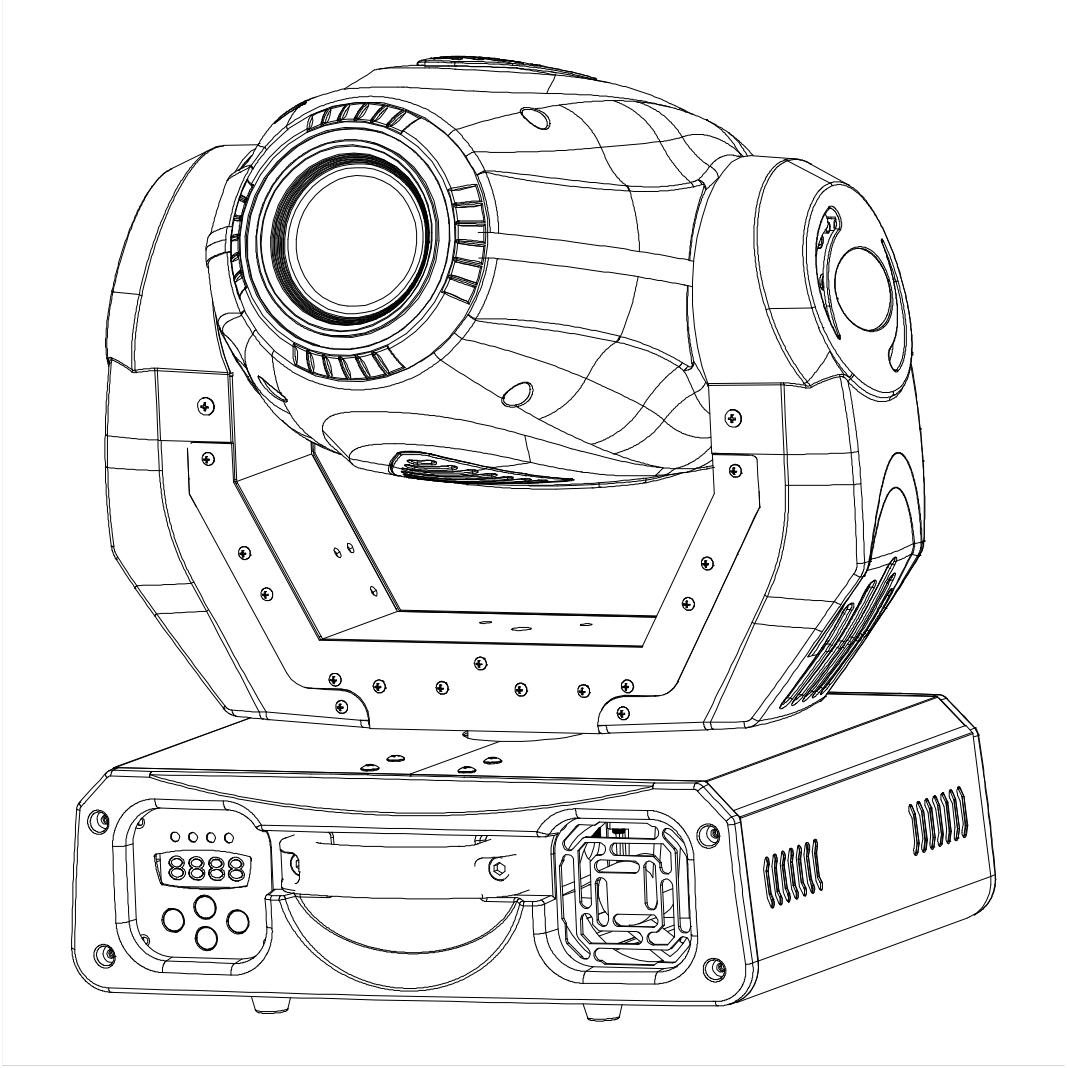
iSolution
Your integrated Solution

IM-575SP

iSolution シリーズムービングヘッドスポット

日本語取扱説明書



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

目 次

1. 安全に関する記述 3
2. 本製品の技術仕様 5
2.1 ゴボの挿入と交換 6
2.2 ビームアングル 6
3. ランプ 7
4. 灯体をセットアップする 8
4.1 コントロールパネル 8
ディスプレイ 8
LED 部の表示 8
各ボタンの詳細 8
リモートコントローラー入力 8
Sensitivity(マイク入力感度) 8
Microphone(マイクロフォン) 8
DMX input/output(DMX 入出力) 8
4.2 メインファンクション 9
4.3 ホームポジションの調整 13
5. 灯体のオペレーション 14
5.1 マスター／スレーブ接続による内部プログラムを使用した操作 15
5.2 イージーコントローラーを使った操作 15
5.3 DMX コントローラーを使った操作 16
5.4 DMX512 チャンネルプラン 17
5.5 DMX512 を使ったケーブル接続 19
6.トラブルシューティング 20
7.日常のお手入れとメンテナンス 21
ヒューズを交換する 22
8.製品の保証 23

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

1. 安全に関する記述

○ この日本語説明書には、本製品を使用する上で必要なさまざまな事項に関してあらゆる記述がなされています。このため、製品の近くにこの説明書を設置し、すぐに参照できるように心がけてください。また、将来本製品を他人に譲渡するときには、この説明書を必ずお渡しください。

○ 本体が届いたら、まず本体にいかなるダメージがないかどうか、また指定の付属品があるかどうかを確認してください。本製品における不良や付属品不足等に対する初期不良交換期間はご購入の日を含め7日間です。

○ 本製品に必要な電源は AC100V 50/60Hz です。本製品は日本の電力事情に対応するよう輸入品でありながら法律に基づいて改良を行っているものです。基準外の電圧を加えないようお願いします。

○ 本製品に必要な適合ランプは HMI およびその互換ランプです。(弊社推奨:PHILIPS HMI-575、HMQ-575/2)基準ランプ以外のランプは絶対にお使いにならないでください。

○ できるだけ本体にはアースをお取りいただくようお願いします。本体に付属している電源コードにはアース端子がついており、簡単にアースを取り付けられるようになっています。

○ 本製品は屋内使用を前提に設計されています。屋外で使用する場合には外気温、湿度、そして雨の影響を受けないようにしてください。また、防水機能はありません。

○ 本製品を設置する場合、風通しのよい場所でなおかつ周囲 50Cm 以内には何もないところに行ってください。設置をする際、通気孔をふさがないようにしてください。

○ ランプを交換する際もしくはメンテナンスなどをする場合、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。

○ ヒューズは正しい、容量がオリジナルのものと同じものをお使いください。

○ オペレーションの際、燃えやすいものの近くで行わないようにしてください。発火の危険性があります。

○ 本体を壁付けにしたり天井機構から吊り下げることを予定している場合、安全ワイヤーの使用は必須です。必ず本体とともにお求めいただき、ワイヤーと一緒に設置するようにしてください。

○ 最大周囲環境温度 Ta は、約 40℃です。外気温がこの温度より高い場合ご使用をお控えください。

○ 運用中、本体の内部温度は最大 85℃まで上昇し、またランプが点灯している間は常に爆発の危険性をはらんでいます。運用中はカバーをあけたり、また発熱部分に触らないようお願いします。また、ランプ交換などで本体のカバーを開ける際は少なくとも電源を切ってから 15 分後、ランプの冷却が完全であることを確認した上で行ってください。

○ 運用中、本体に明らかな異常を発見した際は直ちに使用を中止し、お求めの販売店もしくは Graphica サービスセンターまでご連絡ください。本体は非常に複雑な部品で構成されており、ユーザー様サイドで保守できるパーツはありません。ご自身で修理を行わないでください。症状をさらに悪化させる可能性があるだけでなく、製品保証の対象外となります。

○ 本体の電源をディマーなどの調光装置から取らないでください。

○ 本体には高圧電流が流れています。本体の電源が入っている間はいかなる内部の配線に手を触れないでください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

【危険!!!】

- いかなる電気的ショックや火災から本他を保護するため、湿気等の多い環境では使用しないでください。
- ランプは点灯後約 700℃近くに達し、またランプが点灯しているか否かにかかわらず常に爆発の危険性があります。本体のランプを交換するときには必ず以下の事項をお守りください。
  - 出来るだけ長袖で難燃性のものを着用し、皮手袋を使ってください。
  - ランプ交換に際してはゴーグル等目を保護するものを着用するよう心がけてください。
  - ランプが十分に冷却されていることを確認してください。
- ランプを装着していない状態で電源を入れないでください。バラストやイグナイターなど、各種ランプ点灯装置に対して重大なダメージを与えます。
- 本体のハウジングや光学レンズ、灯体内部の紫外線フィルター等が破損している場合、直ちに販売店に連絡し修理を依頼してください。本体内部の温度を以上に上昇させ、大変危険です。
- ランプが点灯している場合、ランプの光を直視しないでください。目に対して非常に大きな損傷を与える場合があります。

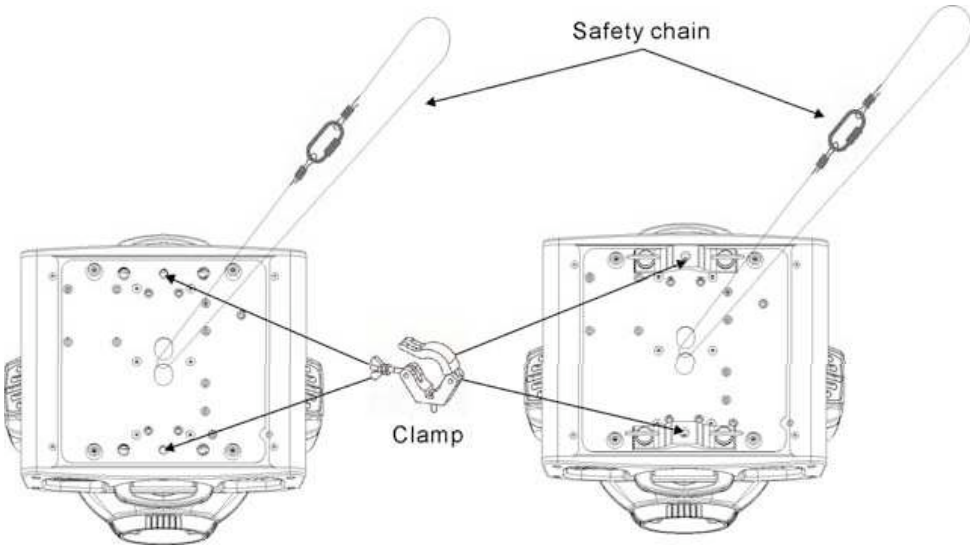
【注意】

本製品にユーザー側で保守できる部品はこの説明書に記載されている事項以外は一切ありません。

修理に関しては決してご自身で行わず、お求めの販売店もしくは後述の Graphica サービスセンターにご相談ください。

【設置に関する一般的事項】

本体を設置するときには、本体裏のねじ穴及び、付属のブラケットを使うようにしてください。また、これらのねじ穴に適切なハンガーブラケットが完全に装着されているかどうか確認してください。ご使用いただけるブラケットは最低でも耐荷重が 150Kg 以上のものをお使いください。（本製品はムービングヘッドであり、ヨーク＝首部が動く機械であることから慣性モーメントを考慮する必要があります。）



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

2. 本製品の技術仕様

電源入力:100VAC 50/60Hz(本体に周波数切り替えスイッチ付)

適合ランプ:HMI 575W/ GS もしくはこれに互換するランプ

光学システム:スタンダード 14° フォーカスビームアングル(フォーカスは DMX 経由でコントロール可能)

シャッター/ディマー:

ブラックアウト、0-100%連続可変ディマー

バリアブルストロボ(1～10 回/秒)

ゴボホイール:(インデックス機能搭載)

ゴボホイール①･･･9 固定ゴボ+オープン(取替不能)

ゴボホイール②･･･7 ゴボ+オープン(5 メタルゴボ、2 グラスゴボ、オープン)

ゴボホイール可変スピード、ゴボシェイクエフェクト機構付

カラーホイール:

9 ダイクロイックカラー+ホワイト

カラーホイール可変スピード、レインボーエフェクト

ヨークムーブメント:

PAN(水平方向)―――540° (2.8 秒で回転)

TILT(垂直方向)―――270° (1.6 秒で回転)

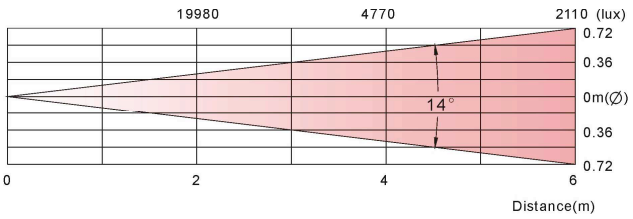
DMX チャンネル:USITT 規格 1990 年バージョン(16 チャンネル使用設定時)

Channel 1 = Pan (水平ムーブメント)	Channel 9 = ゴボ 2
Channel 2 = Tilt (垂直ムーブメント)	Channel 10 = ゴボ 2 回転
Channel 3 = Pan/Tilt スピードコントロール	Channel 11 = プリズム
Channel 4 = ディマー	Channel 12 = プリズム回転
Channel 5 = シャッター/シェイキング	Channel 13 = フォーカス
Channel 6 = カラー	Channel 14 16 ビットパン
Channel 7 = アイリス	Channel 15 =16 ビットチルト
Channel 8 ゴボ1	Channel 16 = リセット、ﾗﾝﾌﾟｵﾝ･ｵﾌ

DMX チャンネル(8 チャンネル使用設定時)

Channel 1 = パン
Channel 2 = チルト
Channel 3 = シャッター
Channel 4 = ゴボ
Channel 5 = カラー
Channel 6 = ゴボ回転/アイリス
Channel 7 = プリズム/プリズム回転/ディマー
Channel 8 = フォーカス

ビームアングル



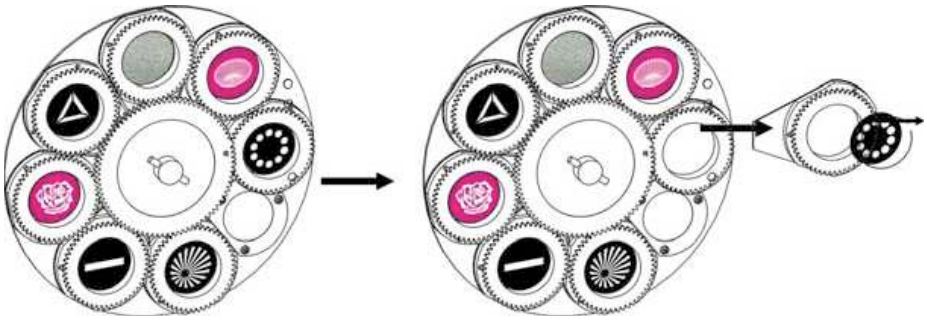
寸法:427mm x 478mm x 369mm (L x W x H)　　重量:約 28.5Kg

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

2.1 ゴボの挿入と交換

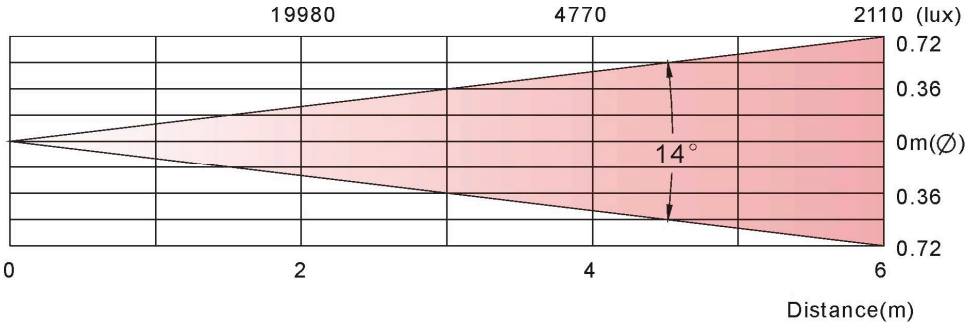
危険！！
ゴボをインストールする際は必ず電源をコンセントから抜いた状態で行ってください。

本体のヨーク部分カバーの横にあるねじを取り、カバーを取り除きます。
現在装着されているゴボの代わりにオリジナルで作成したゴボをご使用になる場合、またはゴボそのものを取り出す必要がある場合は、適切な工具を使用してゴボホイール中の「ゴボ固定用リング」を取り外し、ゴボを取り出してから新しいゴボを装着します。ゴボ固定用リングはゴボを装着した後元通りにしっかりと装てんします。



注意！
ローテートゴボの機構部分のねじを取り外さないでください。ゴボを回転させるボールベアリングが外に飛び出てしまいます！！

2.2 ビームアングル



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

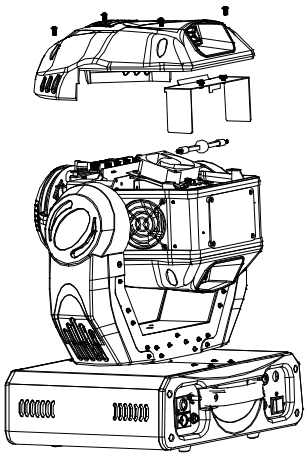
3. ランプ

ランプを交換する際もしくはメンテナンスを行うときには、電源を切った後 15 分以上経過し、ランプが冷え切っていることを確認した後行ってください。

本製品に使用されているランプは通常「メタルはライドランプ」もしくは「ディスチャージランプ」と称し、放電の原理を使っていることから内部圧力は非常に高く、ランプが点灯しているか否かにかかわらず常に爆発等の危険を持っています。そのため、ランプを交換されるときにはできるだけ専門の業者などに依頼するようにしてください。ユーザー様自身で交換される場合には、下記記載の注意事項をお守りください。

（注意事項再掲）

- ランプは点灯後約 700℃近くに達し、またランプが点灯しているか否かにかかわらず常に爆発の危険性があります。本体のランプを交換するときには必ず以下の事項をお守りください。
  - 出来るだけ長袖で難燃性のものを着用し、皮手袋を使ってください。
  - ランプ交換に際してはゴーグル等目を保護するものを着用するよう心がけてください。
  - ランプが十分に冷却されていることを確認してください。
- ランプを装着していない状態で電源を入れないでください。バラストやイグナイターなど、各種ランプ点灯装置に対して重大なダメージを与えます。
- 本体のハウジングや光学レンズ、灯体内部の紫外線フィルター等が破損している場合、直ちに販売店に連絡し修理を依頼してください。本体内部の温度を異常に上昇させ、大変危険です。
- ランプが点灯している場合、ランプの光を直視しないでください。目に対して非常に大きな損傷を与える場合があります。



＜特に留意すべき事項＞

ランプは紫外線成分を多く含んでいるため、人間の肌や特に目に大きなダメージを与えます。

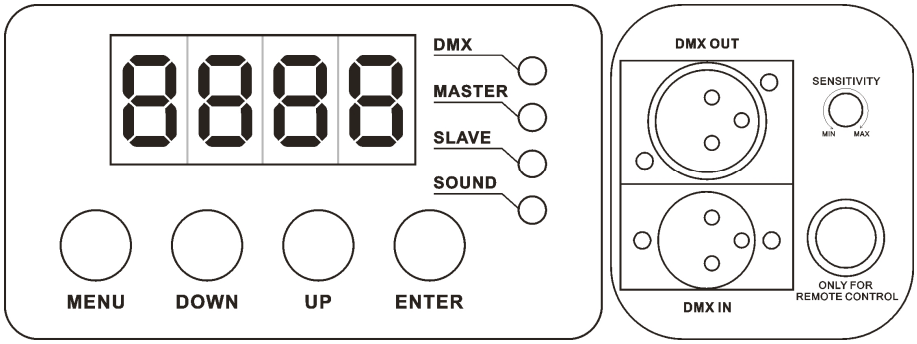
交換ランプ：OSRAM HMI 575W もしくは認定した互換ランプ

1. ランプ交換などランプ部分にアクセスする際は常に電源をお切りになり、ランプの冷却を待ってください。
2. ランプを素手で触らないでください。通常は皮手袋など耐熱性のあるグローブを使用して行います。誤って触れてしまった場合には、必ず無水アルコールなどでランプのガラス部分を拭いてください。
3. ランプの発光時は常に多量の紫外線を放出します。ゴーグルなどを装着し、また長袖などを着用しできるだけ肌の露出を抑えてください
4. ランプの寿命は平均で約 1000 時間ですが、この時間経過とともに爆発の危険性が比例します。必ずメーカーに指定された時間以上ランプを使用しないでください。
5. **ランプの発光はランプとリフレクター（反射材）の位置関係によって大きく変化します。ヨーク部分裏側のランプホルダー調整ねじ A/B/C を使って、ランプの投影が均一になるよう調整してください。**

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

4. 灯体をセットアップする

4.1 コントロールパネル



ディスプレイ

ディスプレイには、さまざまな灯体の情報や機能メニューなどが表示されます。

LED 部の表示

DMX	点灯	本体に DMX 信号が入力されています。
MASTER	点灯	本体はマスターモードで動作します。
SLAVE	点灯	本体はスレーブモードで動作します。
SOUND	点滅	本体は音楽同調モードで動作します。

各ボタンの詳細

MENU	各種動作プログラムの設定変更に使用します。
DOWN	選択した前の機能を表示します。
UP	選択した次の機能を表示します。
ENTER	現在選択中の機能を確定します。

リモートコントローラー入力

専用リモートコントローラーCA-8 を使用します。1/4 インチフォーンジャックで接続され、リモコン側では「スタンバイ」「機能選択」「モード選択」などを提供します。

Sensitivity(マイク入力感度)

音楽同調モードでの動作時における内蔵マイクロフォンの感度を調節するためのボリュームです。

Microphone(マイクロフォン)

音楽同調モードでの動作時におけるマイクロフォン入力です。

DMX input/output(DMX 入出力)

3 ピン XLR コネクターを使用した DMX512 信号接続用の各種端子です。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

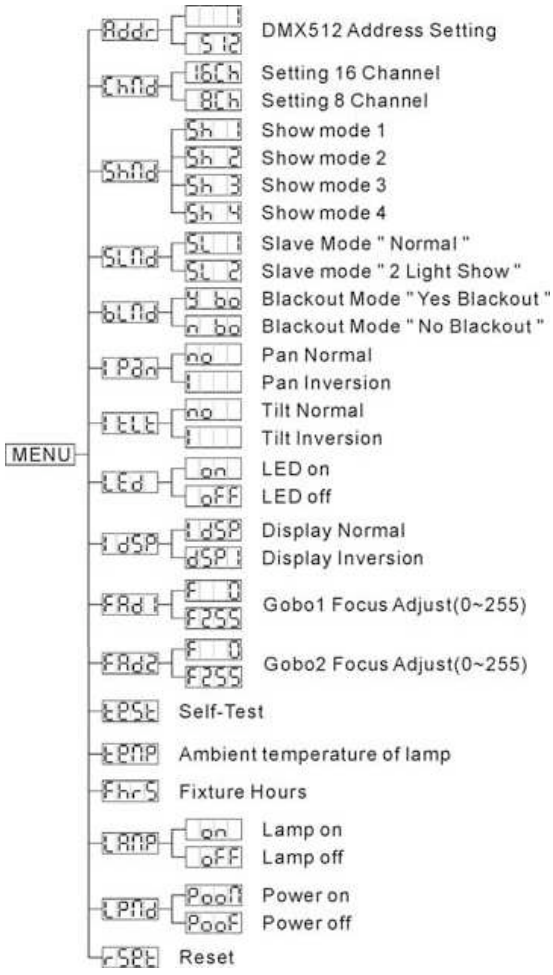
4.2 メインファンクション

プリセットされた機能を選択するには、MENU キーを目的の機能が表示されるまで数回押し、ENTER キーで機能詳細に入ります。この際、ディスプレイは点滅を始めます。

次に、DOWN UP キーを使ってメニューの中に表示されている各種モードを選択し、目的のモードを選択したら再度 ENTER キーを押して確定します。ここで 8 秒間何も行わなかった場合、自動的にメインメニューに戻ります。

何も変更を加えず、メインメニューに戻るには単に MENU キーを押します。

【機能の詳細】



Addr **DMX512 接続におけるスタートアドレスの設定**

MENU キーを数回押し、**Addr** を表示させ、**ENTER** キーを押します。（ディスプレイは点滅を始めます）

DOWN もしくは **UP** キーを使って、この灯体における DMX チャンネルを定義します。チャンネルの定義が終了したら **ENTER** キーをもう一度押すとアドレスが確定します。（自動的にメインメニューに戻ります）

何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に **MENU** キーを押します。

ChNd **制御チャンネルモードの設定**

MENU ボタンを押し、**ChNd** を表示させます。 ENTER ボタンを押すとディスプレイは点滅します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

16Ch (16 チャンネル制御) 8Ch (8 チャンネル制御)のどちらかを選択します。チャンネルの定義が終了したら **ENTER** ボタンをもう一度押すとチャンネルモードが確定します。(自動的にメインメニューに戻ります)
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、あるいは **MENU** ボタンを押します。

ShMd ショーモード

MENU キーを数度押し、ShMd を表示させ、**ENTER** キーを押します。(ディスプレイは点滅を始めます)
DOWN もしくは **UP** キーを使って、Sh 1 (ショー1)、 Sh 2 (ショー2)、 Sh 3 (ショー3)、Sh 4 (ショー4) のいずれかのモードを選択し、再度 **ENTER** キーを押します。(自動的にメインメニューに戻ります)
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に **MENU** キーを押します。

Sh 1 ショーモード1 鎗灯体が床置きであることを条件にしたショープログラムで、チルト角度は 210° です。

Sh 2 ショーモード2 鎗灯体が天井吊りであることが前提のショープログラムで、チルト角度は 90° です。

Sh 3 ショーモード3 鎗灯体が床置き、(ステージ上などにある場合)であることを前提としたショープログラムで、ステージ正面に設置した場合、スポット光が観客の方向を向くように設定されています。パンムーブメント角度は左右に 160° 、チルト角度は水平より上に 60° 下に 30° です。

Sh 4 ショーモード4 鎗灯体が天井吊りで(ステージ上などにある場合)あることを前提としたショープログラムで、スポット光がステージ正面部分を重点的に照射するように設定されたショープログラムです。パンムーブメント角度は左右に 160° 、チルト角度は前面方向に 75° 背面方向に 15° です。

SLMd スレーブモード

MENU キーを数回押し、SLMd を表示させ、**ENTER** キーを押します。(ディスプレイは点滅を始めます)
DOWN もしくは **UP** キーを使って、SL 1 (ノーマル) もしくは SL 2 (2 ライトショー) のいずれかのモードを選択します。選択が終了したら再度 **ENTER** キーを押します。(自動的にメインメニューに戻ります)
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に **MENU** キーを押します。

bLMd ブラックアウトモード

MENU キーを数回押し、bLMd を表示させ、**ENTER** キーを押します。(ディスプレイは点滅を始めます)
DOWN もしくは **UP** キーを使って、Y bo (yes blackout) もしくは n bo (no blackout) のいずれかのモードを選択します。選択が終了したら再度 **ENTER** キーを押します。(自動的にメインメニューに戻ります)
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に **MENU** キーを押します。

IPAn パンインバージョン(パン制御反転)

MENU キーを数回押し、IPAn を表示させ、**ENTER** キーを押します。(ディスプレイは点滅を始めます)
DOWN もしくは **UP** キーを使って、no (ノーマル) もしくは I (パン制御反転開始) のいずれかのモードを選択します。選択が終了したら再度 **ENTER** キーを押します。(自動的にメインメニューに戻ります)
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に **MENU** キーを押します。

ItLt チルトインバージョン(チルト制御反転)

MENU キーを数回押し、ItLt を表示させ、**ENTER** キーを押します。(ディスプレイは点滅を始めます)

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

DOWN もしくは UP キーを使って、 （ノーマル）もしくは （チルト制御反転開始）のいずれかのモードを選択します。選択が終了したら再度 ENTER キーを押します。（自動的にメインメニューに戻ります）
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に MENU キーを押します。

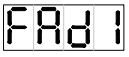
LED ディスプレイの表示

MENU キーを数回押し、 を表示させ、ENTER キーを押します。（ディスプレイは点滅を始めます）
DOWN もしくは UP キーを使って、 （表示機能あり）もしくは （表示機能なし）のいずれかのモードを選択します。選択が終了したら再度 ENTER キーを押します。（自動的にメインメニューに戻ります）
何も変更を加えない場合は 8 秒間以上そのまま放置するか、単に MENU キーを押します。

ディスプレイ表示の反転

この機能は天井などに逆さ吊りしたとき、ディスプレイの表示を反転させることによって通常の表示にさせることができ、大変便利です。MENU キーを数回押し、 を表示させ、ENTER キーを押します。（ディスプレイは点滅を始めます）

DOWN もしくは UP キーを使って、 （ディスプレイ反転)を表示し、そのままの状態にしておくと 8 秒後に自動的にメインメニューに戻ります。また、この間に ENTER キーをもう 1 度押すと、ディスプレイの表示が元に戻ります。メインメニューに戻る場合には、MENU キーを押します。

 **Gobo1 フォーカス調整**

MENU キーを数回押し、 を表示させ、ENTER キーを押します。（ディスプレーが点滅します。）本体のヨークがチルト 45°、パン 0° の位置に移動し、ここから ENTER キーを押すごとにパン値が 0°, 90°, 180°, 270° に移動します。DOWN と UP キーでゴボフォーカスを調整します。メインメニューに戻るには MENU キーを再度押します。

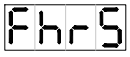
Gobo2 フォーカス調整

MENU キーを数回押し を表示させ、ENTER キーを押します。（ディスプレーが点滅します。）本体のヨークがチルト 45°、パン 0° の位置に移動し、ここから ENTER キーを押すごとにパン値が 0°, 90°, 180°, 270° に移動します。DOWN と UP キーでゴボフォーカスを調整します。メインメニューに戻るには MENU キーを再度押します。

セルフテスト

MENU キーを数回押し、 を表示させ、ENTER キーを押します。本体はテストシーケンスプログラムの再生を始めます。メインメニューに戻る場合には、MENU キーを押します。

ランプ周辺温度の表示 MENU ボタンを押し、 を表示させます。 ENTER ボタンを押すと、ランプ周辺温度が表示されます。メインメニューに戻る場合は、 MENU ボタンを再度押します。

 **灯体運用時間の表示**

MENU キーを数回押し、 を表示させ、ENTER キーを押します。表示された数字が出荷時からの連続運用時間の統計表示です。この設定は元に戻すことができません。メインメニューに戻る場合には、MENU キーを押します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

LAMP **Lamp Display**

MENU キーを数回押し、 LAMP を表示させ **ENTER** キーを押します。 **DOWN** 、**UP** ボタンで on （ランプ点灯モード）or oFF （ランプ消灯モード）の各モードを選択します。 決定後 **ENTER** を押しメインメニューに戻るか 8 秒放置すると自動的にメインメニューに戻ります。

LPNd **電源オン/オフ**

MENU キーを数回押し、 LPNd を表示させ **ENTER** キーを押します。**DOWN** 、**UP** ボタンで PooN (Power On） or PooF (Power Off） の各モードを選択します。 決定後 **ENTER** を押しメインメニューに戻るか 8 秒放置すると自動的にメインメニューに戻ります。

rSEt **灯体リセット**

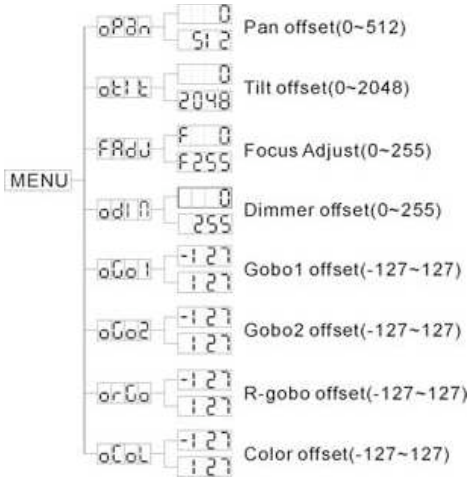
MENU キーを数回押し、rSEt を表示させ、**ENTER** キーを押します。灯体がリセットされ、ホームポジションに戻ります。メインメニューに戻る場合には、**MENU** キーを押します。

DMX リセット:

16 チャンネルの値を 200-209 にすると、5 秒後にその灯体の全チャンネルが初期設定のホームポジションに戻ります。

4.3 ホームポジション調整

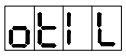
ホームポジションを調整する際は、MENU ボタンを 5 秒以上押すことにより、ホームポジションに入ります。まず最初に FAdJ モードでフォーカスを調整し、以下の調整に入ります。



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

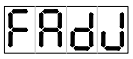
パン（水平方向調整）

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。DOWN ・ UP ボタンで を表示します。ENTER ボタンを押すとディスプレイが点滅します。 DOWN ・UP ボタンで、パン方向のホームポジションの調整モードになります。 ポジション確定後、 ENTER ボタンを押すと自動的に確定されます。何も変えない場合は、MENU ボタンを再度押してください。メインメニューに戻るには 8 秒以上そのまま放置しておくと自動的に戻ります。



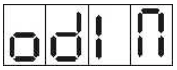
Tilt offset

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。DOWN ・ UP ボタンで を表示します。ENTER ボタンを押すとディスプレイが点滅します。 DOWN ・UP ボタンで、パン方向のホームポジションの調整モードになります。 ポジション確定後、 ENTER ボタンを押すと自動的に確定されます。何も変えない場合は、MENU ボタンを再度押してください。メインメニューに戻るには 8 秒以上そのまま放置しておくと自動的に戻ります。

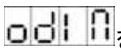


フォーカス調整

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。DOWN ・ UP ボタンで を表示します。 ENTER ボタンで確定すると本体のヨークがチルト 45° 、パン 0° の位置に移動し、ここから ENTER キーを押すごとにパン値が 0°, 90°, 180°, 270° に移動します。DOWN と UP キーでゴボフォーカスを調整します。メインメニューに戻るには MENU キーを再度押します。オフセットモードでのフォーカス調整はホームポジションのみとなります。メインメニューに戻るには 8 秒以上そのまま放置しておくと自動的に戻ります。



ディマー offset

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。DOWN ・ UP ボタンで  を表示します。ENTER ボタンで確定するとディスプレイが点滅を始めます。DOWN と UP キーでディマーのホームポジションを 0 から 225 までで調整します。モードを選択したら、ENTER ボタンで設定するか、何も変えずにオフセット機能に戻る場合は MENU キーを再度押します。メインメニューに戻るには 8 秒以上そのまま放置しておくと自動的に戻ります。

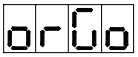
Gobo1 offset

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。DOWN ・ UP ボタンで を表示します。 ENTER ボタンで確定するとディスプレイが点滅します。DOWN ・ UP ボタンで ゴボの位置を調整します。ゴボ 1 の調整ができましたら ENTER キーを押すと機能調整メニューに戻ります。何も変更しない場合は MENU ボタンを再度押すか何もしないで 8 秒以上放置するとメインメニューに戻ります。

Gobo2 offset

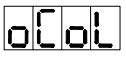
MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。DOWN ・ UP ボタンで を表示します。 ENTER ボタンで確定するとディスプレイが点滅します。DOWN ・ UP ボタンで ゴボの位置を調整します。ゴボ 1 の調整ができましたら ENTER キーを押すと機能調整メニューに戻ります。何も変更しない場合は MENU ボタンを再度押すか何もしないで 8 秒以上放置するとメインメニューに戻ります。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



R-gobo offset

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。**DOWN ・ UP** ボタンで を表示します。**ENTER** ボタンで確定するとディスプレイが点滅します。**DOWN ・ UP** ボタンでR-ゴボホームポジションを調整します。調整ができましたら **ENTER** キーを押して設定します。何も変更しない場合は **MENU** ボタンを再度押すか何もしないで 8 秒以上放置するとメインメニューに戻ります。



Color offset

MENU ボタンを 5 秒以上押し、オフセットモードに入ります。**DOWN ・ UP** ボタンで を表示します。 **ENTER** ボタンで確定するとディスプレイが点滅します。**DOWN ・ UP** ボタンで カラー位置調整します。カラー位置の調整ができましたら **ENTER** キーを押すと機能調整メニューに戻ります。何も変更しない場合は **MENU** ボタンを再度押すか何もしないで 8 秒以上放置するとメインメニューに戻ります。

5. 灯体のオペレーション

IM-575SP（本製品）を含め、全ての iSolution シリーズ製品では、下記の 3 通りでの操作が可能です。

1. マスター／スレーブ接続による内部プログラムを使用した操作
2. 別売イージーコントローラーCA-8 を使った操作
3. 通常の DMX コンソール（制御卓）を使った操作

DMX スタートアドレスを変更した場合は、電源を切らなくてもアドレスの変更はその時点から有効です。本体の電源を入れると、本体は全ての機構が正常であるかどうかのセルフテストを行い、その後ホームポジションに移ります。そのため、20 秒間はメカニカルノイズが発生しますが、これは故障ではありません。この初期動作が終了した後 DMX 信号を受信するか、内部プログラムの再生に移ります。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

5.1 マスター／スレーブ接続による内部プログラムを使用した操作

このモードは灯体設置後いかなるプログラミングをも行わず、すぐにライティングショーを行いたい場合に便利です。

まず、灯体の電源が入っている間ブラックアウトモードを有効にする（ファンクション bLnd を選択し、y bo （ブラックアウトする） もしくは n bo （ブラックアウトしない） を選択することができます。

複数の灯体をマスター（親機）／スレーブ（子機）接続で接続した場合、接続上の最初の灯体が自動的に親機となり、子機に対して自動的に、音楽に同調したシンクロナイズドショーを送信します。それぞれの灯体への接続は通常の DMX ケーブルを使用します。

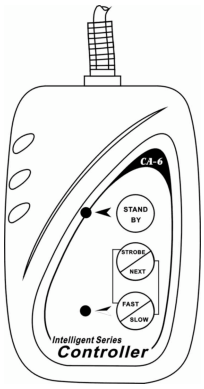
接続が完了したら、2 台目以降の灯体の全てに関してすべて SLnd スレーブモードを選択し、SL 1 （ノーマル） もしくは SL 2 （2 ライトショー） のどちらかのサブモードを選択します。設定した灯体は、最初の灯体は Master LED が点灯、Sound LED が音楽に合わせて点滅し、2 台目以降の全てのスレーブ灯体は Slave LED が点灯の状態になります。

ショー種類は、専用簡易コントローラーCA-8 を使って Sh 1 （ショー1） 、 Sh 2 （ショー2）、 Sh 3 （ショー3）、Sh 4 （ショー4） と順次選択します。

2 ライトショー

スレーブモード SLnd においては、SL 1 の表示は「この灯体は通常モードで動作」、そして、SL 2 は 2 ライトショーであることを意味します。2 つの灯体を使った簡易ショーを設定する場合に大変便利な機能です。

5.2 イージーコントローラーを使った操作



専用簡易コントローラーCA-8 は、マスター／スレーブモードでのみ使用します。相互に接続した複数灯体の中、最初の灯体のマイクロフォン端子にコントローラーのプラグを接続して使用します。デイジーチェインによって接続された一連の灯体群に対し、「スタンバイ」「ファンクション」および「モード」の各コマンドが使用できます。

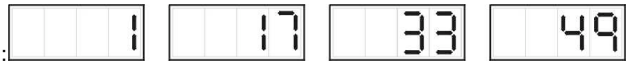
Stand by	灯体を全てブラックアウト（シャッターオフ）にし、待機状態とします。			
Function	ストロボ 1.ゴボ／カラーシンクロストロボ 2.シンクロナイズドストロボ 3.2 ライトストロボ	X/Y ムービングパターンセレクション（12 パターン）	カラー／ゴボの選択 1.ホールド＝ゴボチェンジ 2. 短く押す＝カラーチェンジ	X/Y ムービングセッティング 1.パンポジション 2.チルトポジション 3.ディマー
Mode	サウンドモード 1 （LED はオフ）	サウンドモード 2 （LED は通常点滅）	スロー／サウンドモード3 （LED は点灯）	ポジション／ラッチ （LED は早い点滅）

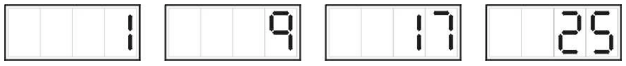
【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

5.3 DMX コントローラーを使った操作

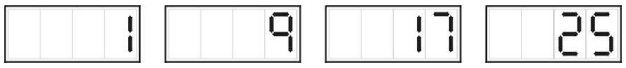
一般的な DMX 調光用コンソールを使う場合、あらかじめ灯体のスタートアドレスを設定しておく必要があります。

メニューボタンを数度押し、Addr と表示させ、**ENTER** ボタンを押します。(ディスプレイは点滅を始めます)**DOWN** もしくは **UP** キーを使って、目的の灯体の DMX スタートアドレスチャンネルを指定します。チャンネルの選択が終了したら、ディスプレイの点滅が停止するまで **ENTER** キーを押し続けるか、そうでなければ 8 秒間そのままの状態にしておくと自動的に選択したアドレスが確定します。変更を行わず、メイン機能に戻るには **MENU** キーを押します。本製品は DMX チャンネルを 8 チャンネル分占有します。したがって、最初の灯体のスタートアドレスを 1 とした場合、順に 9,17,25 といった具合になります。

16 Channels : 

8 Channels : 

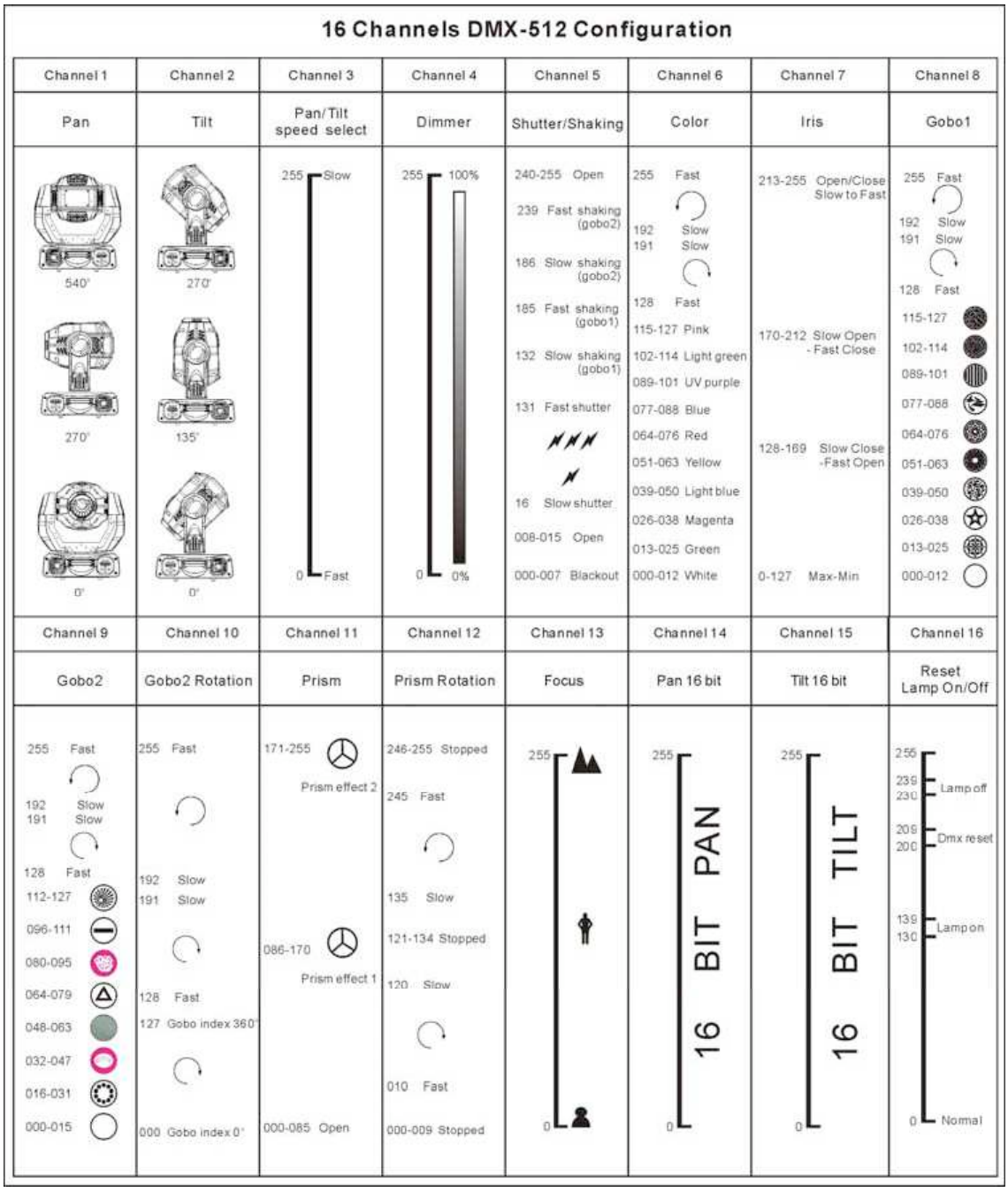
この DMX アドレスの設定は、別売 iSolution コントローラーiLead IL-0824 を使用するとさらに簡単に設定することが可能です。IL-0824 では、DMX チャンネルは自動的にセットされますので、計算する必要がありません。初めの 4 灯体は以下のようになります。

8 Channels : 

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

5.4 DMX512 チャンネルプラン

●16 チャンネル制御



□DMX をリセットするには、16 チャンネルを 200-209 にし、5 秒以上状態を保持します。

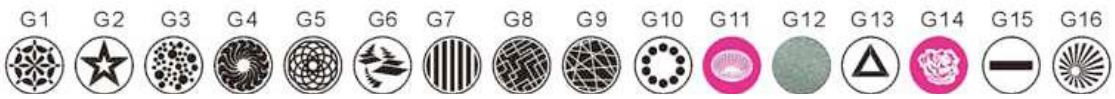
□ランプオンは 16 チャンネルを 130-139 にし、5 秒以上状態を保持します。

□ランプオフは 16 チャンネルを 230-239 にし、5 秒以上状態を保持します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

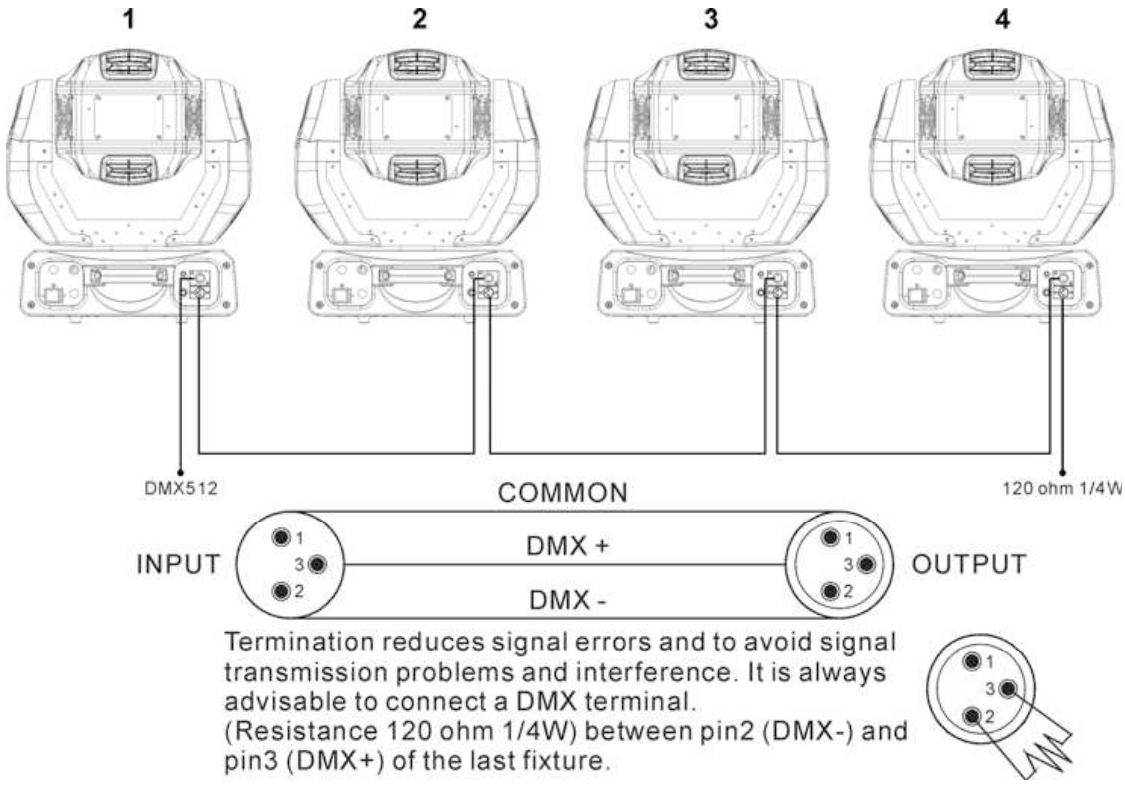
8 Channels DMX-512 Configuration

Channel 1	Channel 2	Channel 3	Channel 4	Channel 5	Channel 6	Channel 7	Channel 8
Pan	Tilt	Shutter/Shaking	Gobo	Color	Gobo rotation /Iris	Prism/Prism rotation /Dimmer	Focus
540°	270°	240-255 Open	255 Fast Gobo2 220 Slow 219 Slow Gobo2 188 Fast	255 Fast 192 Slow 191 Slow 128 Fast	235-255 Open/Close Slow to Fast	255 100% Dimmer	255
		239 Fast shaking (gobo2)	187 Fast Gobo1 160 Slow 159 Slow Gobo1		213-234 Slow Open - Fast Close		
		186 Slow shaking (gobo2)	124-127 G15+G9 120-123 G15+G7 116-119 G15+G5 112-115 G15+G3 108-111 G15+G1 104-107 G13+G9	128 Fast 115-127 Pink	192-212 Slow Close -Fast Open		
270°	135°	185 Fast shaking (gobo1)	100-103 G13+G7 096-099 G13+G5 092-095 G13+G3 088-091 G13+G1 084-087 G10+G9	102-114 Light green 089-101 UV purple	191 Min 128 Max.	128 0% 127 Fast Prism effect 2	
		132 Slow shaking (gobo1)	080-083 G10+G7 076-079 G10+G5 072-075 G10+G3 068-071 G10+G1	077-088 Blue	127 Fast	104 Slow 103 Slow Prism effect 2	
		131 Fast shutter	064-067 G16 060-063 G15 056-059 G14 052-055 G13 048-051 G12 044-047 G11 040-043 G10	064-076 Red 051-063 Yellow	096 Slow 095 Slow	080 Fast 079 Fast Prism effect 1	
			036-039 G9 032-035 G8 028-031 G7 024-027 G6	039-050 Light blue 026-038 Magenta	064 Fast 063 Gobo index 360°	056 Slow 055 Slow Prism effect 1	
0°	0°	16 Slow shutter	020-023 G5 016-019 G4 012-015 G3	013-025 Green		032 Fast 016-031	
		008-015 Open	008-011 G2 004-007 G1				
		000-007 Blackout	000-003 Open	000-012 White	000 Gobo index 0°	000-015 Open	0



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

5.5 DMX512 を使ったケーブル接続



1. 本製品は DMX の接続に 3 ピン XLR コネクターを使用しています。5 ピンのコネクターの場合は、3 ピンに変換する必要があります。詳しくはお求めの販売店にご相談ください。
2. 複数の灯体を接続する場合、最後の灯体の DMX 出力部分には「ターミネーター」と呼ばれる終端抵抗を接続する必要があります。これは、上図のとおりピン2とピン3の間に 120Ω の抵抗を挿入した XLR プラグを接続するものです。製品オプションとしてございますので、詳しくはお求めの販売店にご相談ください。
3. 接続の仕方は、かならず 1 つ目の灯体の出力から 2 つ目の灯体の入力に、といったいわゆる「デイジーチェイン」接続と呼ばれる方法で行います。音響機材でよく見られるような分岐ケーブル（いわゆるYケーブル）などは機材に対して DMX 伝送上大きなダメージを与えますので絶対におやめください。
4. 本製品は、本体電源が OFF の状態にあるときは、自動的に DMX 出力をスルーする構造となっています。
5. それぞれの灯体は、1－512 までの間の任意のチャンネルを設定する必要があります。
6. 通常、DMX 接続に使われるコネクターは5ピンのものよりも3ピン XLR が主流となっています。

   3 pin XLR: Pin 1: GND, Pin 2: Negative signal (−), Pin 3: Positive signal (+)

   5 pin XLR: Pin 1: GND, Pin 2: Negative signal (−), Pin 3: Positive signal (+)

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

6.トラブルシューティング

この章では、本製品をお使いいただく上でさまざまなトラブルを未然に防ぐために、また本体の動きがおかしいなどの不調の際に役立つトピックです。ご使用の前に熟読していただくことを強くお勧めしますほか、万が一故障と見られる場合でも輸入元や販売店等に返送する前に、必ずこの章での項目をご一読ください。

A. 灯体が動きません。もしくはランプが点灯せず、ファンが動作しません。

1. 電源のコネクターおよびヒューズをチェックします。
2. 電源コンセント側からの供給電圧をテスター等で測定します。100V 近辺であれば大丈夫ですが、92V 以下では正常に動作しないことがあります
3. 電源 ON 表示の LED が点灯しているかどうかをチェックします。

B. DMX 信号を受信しません。

1. DMX ケーブルに断線やコネクター部分の接触不良がないかどうかを前提して調べます。
2. 本体の[DMX]LED が点灯していながら正常に受信しない場合、アドレス設定の相違が考えられます。お使いの制御コンソール上のチャンネル（アドレス）が正常かどうか確認してください。.
3. 別の DMX コントローラーを使用してみてください。症状が改善されることがあります。
4. DMX ケーブルの配線の近くに高圧電流のケーブルがないか、またケーブルはマイクケーブルなどではなく専用の DMX ケーブル（110Ω）であるかどうかを確認してください。

C. 接続した複数のうち、途中の灯体がイージーコントローラーに反応しません。

1. DMX ケーブルの断線が考えられます。断線チェックは、単に本体の master/ slave モード表示が点灯しているかどうかで確認することが可能です。
2. モード設定が違う可能性があります。設定したモードを確認してください。

D. 灯体が音に反応しません。

1. 本体が「DMX 信号を受信していないこと」「DMX モードにないこと」を確認してください。（DMX モードにある場合、いかなる音声信号も受信しません）
2. 内蔵マイクロフォン端子の孔付近を軽くたたいて、内蔵マイクが正しく動作しているかどうかをチェックしてください。

E. ある特定のチャンネルが正常に作動しません。

1. ステッピングモーター部分が損傷していることが考えられます。残念ながら、この場合サービススポットによる修理が必要です。
2. もしくは、このステッピングモーターを動作するのに必要な「ドライバーIC」や、メイン基盤の損傷が考えられます。この場合もサービススポットによる修理を要します。

F. ランプが断続的に消灯してしまいます。

1. ランプのソケットなどにランプがきちんと装着されているかどうかを確認してください。
2. 電源電圧を確認してください。通常、これらの製品は入力電圧が 95V 以下の状態にある場合、トランスの点灯に影響が出る場合があります。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

3. 複数灯体を接続している場合、電源極性を同一にする必要があります。検電ドライバーなどを用いて位相を合わせてください。また、アースをきちんと取ってください。
4. 本体の内部温度が異常に上昇していることが考えられます。ファンが破損している場合は交換が必要です。もしもファン等に異常がない場合、外界の放熱対策を講じる必要があります。(クーラーによる冷却など)

7.日常のお手入れとメンテナンス

本製品は定期的なメンテナンスを必要とする製品です。4年ごとに当社の指定するサービススポットで製品のメンテナンスもしくはオーバーホールを受けるようにして下さい。
また、1年に 1 度は当社サービスエンジニアによる定期検査を受けるよう強くお薦めいたします。
当社技術部もしくは指定ディーラーによる定期検査では下記事項が重点的にチェックされます。
1)内部パーツを含めた全てのコンポーネントを固定するねじがしっかりと取付けているかどうか、またこれらのねじ山がつぶれたり斜めに固定されていないかなど。
2)ランプ点灯回路各種。バラスト(安定器)、イグナイター(点火装置)やコンデンサーなど、一定のランプ出力を得るのに必要な各種部品が正常に作動しているか、またそれらの部品が焼けていたり膨張していたりしていないかなど。
3)ミラー、ヨーク、各種ホイールなど物理的に回転や動きをなす部分が適切に動作するかどうか、またこれらは消耗部品を使用しているため各種コンポーネントが摩耗したりしていないかなど
4)電源および各種信号線のすべてが熱により劣化していないか、またそれぞれのケーブルが接触不要や短絡を起こしていないかなど。
この他にも、それまでの使用環境や時間などを事前にお聞きし、それぞれにできるだけ対応した検査項目を別途提案させていただきます。

危険!!!
メンテナンスをする際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと!!

日常のお手入れは固くしぼったぬれぞうきん等を用いて(もちろん電源プラグはコンセントから抜いて下さい)行うようにして下さい。アルコールや有機性物質等を含んだクリーナー等は使用しないで下さい。
本体のオブジェクティブレンズはフォグマシンの液体等が非常に付着しやすい環境にあるため、非常に短い期間で正常な光の出力を失ってしまいます。1週間に1度はレンズクリーナー等で清掃するようにして下さい。また、冷却ファンは1ヶ月に1度の割合で掃除機を使って付着した埃を吸い取るようにして下さい。本体内部のローテートゴボは柔らかい刷毛を用いて埃を除去します。本体内部にたまった埃やゴミ等は、掃除機やエアクリーナーを用いて除去します。
カラーフィルターやゴボホイール、各種内部レンズに関しては出来れば月に1度の清掃をお薦めします。
ローテートゴボホイールのお手入れに関しては、6ヶ月ごとに機械用潤滑油を少しだけ注入することにより滑りの

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

悪さや不快な音がずいぶんと改善されます。ただし、オイルは付けすぎないようにして下さい。かえってローテート部ベアリングの滑りを悪くし、ステッピングモーターの寿命を早めてしまいます。

本製品の内部はユーザー様で交換／修理が可能なパーツはランプ以外に一切ありません。恐れ入りますが上記のメンテナンス以外の事項に関しては、お手数ですが当社指定のサービススポットまでご連絡ください。

なお、ランプの交換に関しては前述の「ランプの取り付けと交換」セクションをご覧ください。

ヒューズを交換する

ヒューズを交換するときには交換前のヒューズを確認して、同じ形状の同じ許容電流および許容電圧のものをお使い下さい。

ヒューズを交換するときには必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

本体に電源スイッチはありません。

交換の手順:

> **ステップ 1:** リアパネル部分にあるヒューズホルダーを適切なマイナスドライバーを使って開けます。
>
> **ステップ 2:** 取り出したヒューズホルダーから古いヒューズを取り出します。
>
> **ステップ 3:** 新しいヒューズをヒューズホルダーに挿入します。
>
> **ステップ 4:**ステップ1と逆の手順でヒューズホルダーを本体に取り付けます。

交換用ヒューズは当社指定の純正品をお使いください。

ヒューズ切れ等の影響で電源コードに何らかの損傷がある場合はお近くの販売店もしくは当社指定のサービススポットにご連絡の上、交換をご依頼下さい。ユーザー様側で交換は一切行わないで下さい。ユーザー様サイドでの電気部品の交換は電気用品安全法に規定する 2 次改造にあたり、法令に違反する可能性があります。

本説明書に記載されていない事項でご不明な点がありましたら、どうぞご遠慮なくお近くの販売店にご相談ください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

8.製品の保証

この製品は当社の厳密な検査に合格して出荷されたものです。ご使用中に万一製造上の不備による故障が発生した場合は、別途保証書に記載された保証規定に従い保証期間に限り無償修理致します。
なお、本製品の保証期間は販売店よりお買い上げの日より換算して 1 年間です。
また、本製品は下記輸入元の正式な手続きを経て輸入されており、それ以外のいかなる者により国内に調達された製品に関してはどのような場合にあっても製品保証の対象外とさせていただきますのであらかじめご了承願います。
This warranty program is valid only in Japan.

本製品に関する修理は原則としてサービススポットへのセンドバック（メーカー送り）による修理のみが対象です。したがって、修理期間中の代替機等の貸し出しの対象にはなりません。

修理に関する御相談先

▼国内輸入総代理店
グラフィカ株式会社　技術部
本社 〒703-8265 岡山市中区倉田295-15
TEL 086-239-0010　FAX 086-239-0020
www.graphica.ne.jp

※製品を送付される前に必ず御連絡をお願いします。その際、修理受付番号を申し上げますので番号をお手元におひかえいただきます様お願いします。また、無償修理の場合保証期間内であることが証明された「製品保証書」が必要になります。それ以外の修理はいかなる場合においても有償となりますのでご了承ください。

また、製品の不具合、故障につきまして、販売店もしくは輸入元に送品する前にその症状、発生頻度などをできるだけ詳しく記載したメモを同封いただけますと迅速な修理が可能です。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。